

樟葉地区

公共交通活性化総合プログラムについて

平成 17 年 3 月 14 日

地域デザイン研究会 平峯 悠

1

活性化プログラムに対するいくつかの見方

【1】大型商業施設リニューアルに伴う交通問題??

許可に伴う警察・行政協議の内容と対応策

それらに対するネットワーク会議の見解と要望を取りまとめる

【2】現状の交通問題に対する対応策を提案しようとしているのか??

バスの定時性の確保 一般車対策 駐車場対策 など

(対応策)

ボトルネック解消のためのマニュアル的対応

現状分析 代替案 評価のシステムの中で行政や交通事業者・企業等が夫々役割分担しつつ、評価や代替案作りでネットワーク会議が参画して具体的整備の方向を決定する。

【3】公共交通を中心とした街づくりを提案しようとしているのか??

「いつでも便利な公共交通」「歩いて暮らせる街」「自転車に優しい街」

(対応策)

市民・住民(街全体)が共有できる理念の徹底が第一歩

公共交通に関する勉強会等(主体・運賃・補助・運営その他)

対象地域として樟葉地区が適当か

【4】新しい「都市再生」モデル地区を目指すのか??

昭和 43 年の着工から 40 年近く経過し、施設の老朽化、住民の高齢化、人口減少、その他日本の各地で見られる地域の停滞が生じている。

「都市再生」は人間再生、地域再生を狙いとする(経済再生ではない)

(対応策)

行政、鉄道事業者、企業、市民・住民の共通認識が必要

交通の方向 = 高齢化・女性・子供の状況から公共交通にシフト

それを前提に自動車と共存する「街」、多種交通手段(エコ)

【1】～【3】を再生という視点から検討し、プログラムを整理

タウンマネジメントのための住民参画(TMO)

都市再生を目的とした調査と整備プログラムを目指して

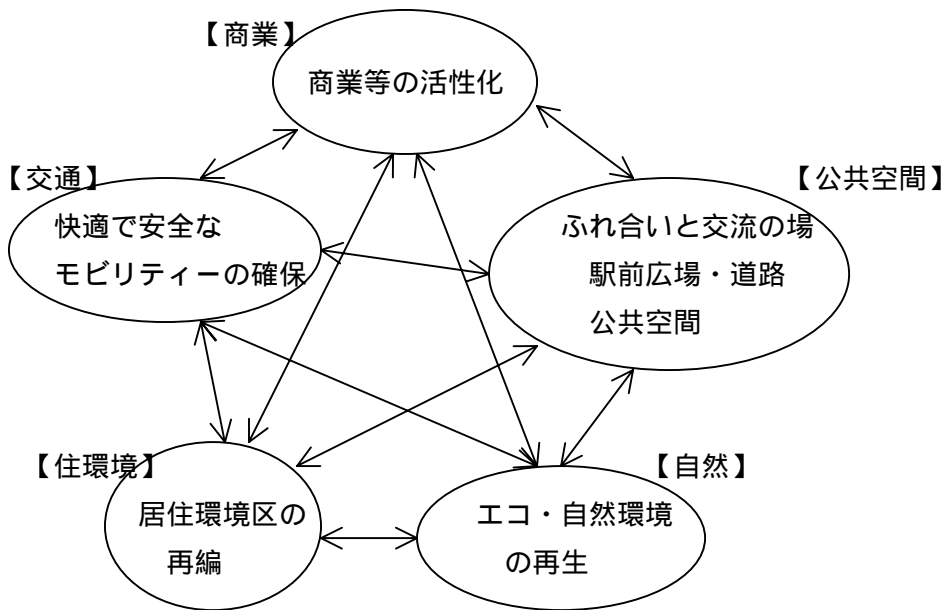
くずは地区を都市再生という視点から、取り組み理念から整備プログラム、役割分担等について整理しなおす。

【都市再生理念の共有】

くずは地区は 40 年前最先端の都市開発モデルとなった地域であるが、施設の老朽化や社会の変化等もあり、新たな再生が必要である。

高層住宅建設や商業施設のリニューアルが進行している中で、地域全体での総合的で継続的な再生整備プログラムを策定し、行政・企業・市民が夫々役割を分担し着実に実行していかなばならない

枚方ネットワーク会議は、これまでの街づくりの仕組みを変革する先導的な役割を果たす



- ・都市再生の課題は相互に関連があり、総合的に考えねばならない
- ・そのための有効な方法は、行政（企業含む）と住民とが共通の目的で調査に取り組み、合意形成を図りながら、具体案を作成し整備に移して行く。

3 都市再生や都市整備に関する調査

くずは地区の諸課題を解決するためには、調査から事業の具体化、都仕組みのプログラムを策定する必要がある。そのためには行政から住民・市民が参画して現在、国や大阪府では次の調査・整備助成、補助制度が設けられている。

【1】全国都市再生モデル調査（内閣官房 都市再生本部）

「全国都市再生モデル調査」は、以下の事項を重点事業として、地域が「自ら考え自ら行動する」先導的な都市再生活動を募集・選定して行う。

- (1) 省際・連携分野、狭間分野、NPO等の民間まちづくり主体との協働分野
- (2) 都市の魅力づくり、高齢化等の社会像の急激な変化に対応した新たなサービスやビジネスの創出など、まちづくりの戦略的な「核」となるソフト施策を重視
- (3) 既存ストック活用など、施設整備だけでなく、利用の高度化や成果重視の徹底による投資の効用の増大

応募団体

地方公共団体 地方公共団体の部局を構成員に含む団体
まちづくりに係る NPO その他の団体

構想の具体化の取り組み、シミュレーション、実地検証等の調査で国費の対象は

- ・課題の整理、対応方針の検討
- ・構想、計画等策定（合意形成のための諸活動を含む）
- ・実地検証（いわゆる社会実験）

【2】都市整備初動期活動サポート助成（大阪府都市整備推進センター）

助成対象活動

大阪府域において、地域住民の発意及び主体による都市整備にかかる初期活動に対し、NPO等が実施する専門家等の派遣、または、初期活動を実施する地域団体の活動を助成の対象とする。

助成対象団体

- (1) 規則、会則等を定め、自主的で継続的に都市整備推進活動を行うことを目的とする NPO その他の団体であること。
- (2) 省略

4 くずは地区の継続的発展のための取り組み

コンセプト : 行政と住民がともに知恵を出し合いパワーを結集する
住民が育む街

枚方環境ネットワーク会議とNPOが行政の協力のもとに造り上げる「街」

施策の方向	備考	整備メニュー	具体化の方法
商業施設の活性化	くずは駅前 中央線沿道	【交通】 ・バス専用レーン ・バス停活性化 ・駐車場案内システム ・自転車対策 【地域振興策】 ・タイアップ料金等	シミュレーション 社会実験 システム設計 アンケート
モビリティの確保	人間優先思想 公共交通と クルマの共存	・バス交通対策 ・コミュニティバス ・タクシー対策 ・自転車、歩行者 ・IT活用 ・駅前交通対策	公共交通研修・講習＝問題の共有 シミュレーション モデル実験 システム設計 計画策定
居住環境区の再編	環境変化から 新たな居住区 設定	・ゾーニング再編 ・一方通行、ハンブ ・外周道路と居住	交通実態調査 住民アンケート
ふれあい・交流の場づくり	駅前広場 道路等の空間	・オープンカフェ ・休憩施設 ・イベント空間 ・道路の解放	行政内空間利用委員会 社会実験
緑のネットワーク	ウォーキング 環境空間	・地域資源マップ ・緑被率 ・水空間の創出 ・グリーンキャノピー	住民によるワーク ショップ アンケート
ITを活用したまちづくり	CATVと地 域情報 交通情報等	・駅前広場のIT化 ・交通システムへの応用(バス、タクシー) ・端末整備	学識経験者を中心 のCATV検討